

5. 住民意向

(1) 一般市民

市民の住宅、住環境等に対する意識、要望を把握するため、平成19年6月にアンケート調査を実施しました。

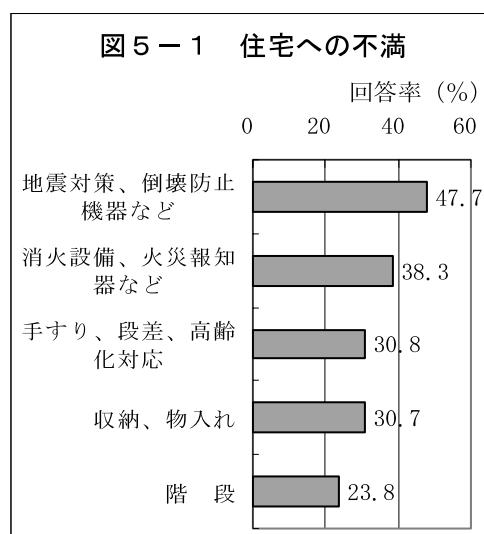
(20歳以上の市民2,000人に配付、622名が回答、回答率31.1%)

1] 住宅に対する評価

① 住宅への不満

市民が利用している住宅（住戸）の満足状況（複数回答可）で困っていることは、「地震対策、倒壊防止機器など（回答率：47.7%）」です。次いで「消火設備、火災報知器など（38.3%）」、「手すり、段差、高齢化対応（30.8%）」、「収納、物入れ（30.7%）」などです。

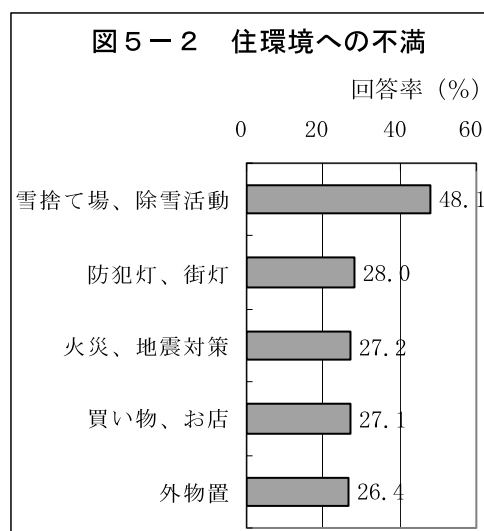
安全性や高齢化への対応には、不満が多いことがわかります。



② 住環境への不満

住戸まわりの外壁や庭など、住環境（複数回答可）で困っていることは、「雪捨て場、除雪活動（48.1%）」や「防犯灯、街灯（28.0%）」、「火災、地震対策（27.2%）」、「買い物、お店（27.1%）」などです。

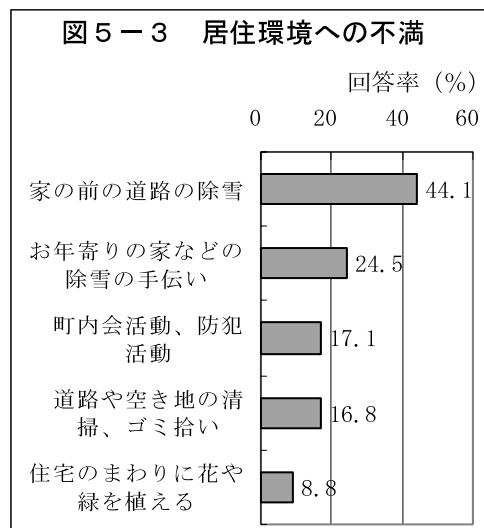
雪問題、防犯、災害に対しては、不満が多いことがわかります。



③ 居住環境への不満

近所付き合い、町内会活動など、近隣との居住環境（複数回答可）で困っていることは、「家の前の道路の除雪（44.1%）」、「お年寄りの家などの除雪の手伝い（24.5%）」などです。

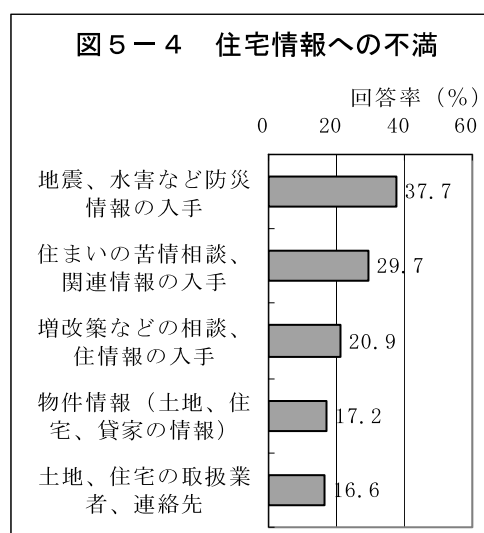
近所と協力し住みやすい地域をつくることについて、不満が多いことがわかります。



④ 住宅情報への不満

住宅情報（複数回答可）で困っていることは、「地震、水害など防災情報の入手（37.7%）」、「住まいの苦情相談、関連情報の入手（29.7%）」、「増改築などの相談、住情報の入手（20.9%）」などです。

市民にとって、実際に必要とする情報や相談相手の不足に不満が多いことがわかります。

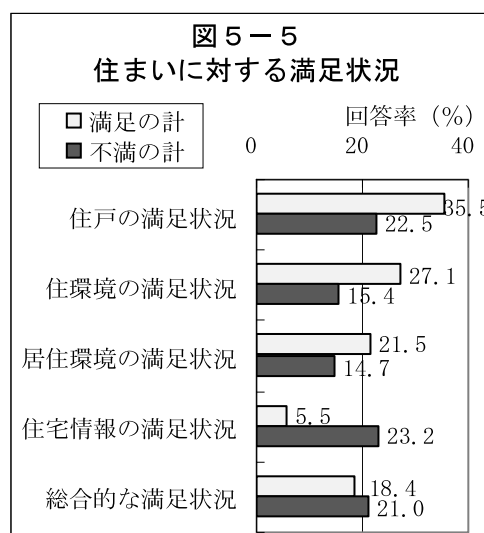


2] 住まいに対する評価

市民の住まいに対する満足度（5段階評価）の高いもの（満足の回答が多い、満足が不満を上回っている）は、住戸、住環境に対する評価です。満足度が低く、かつ不満の大きいのは、住宅に関する情報、相談についてです。

総合的な満足状況は、満足、ふつうあわせて79.1%ですが、満足、不満は各々、概ね同数です。

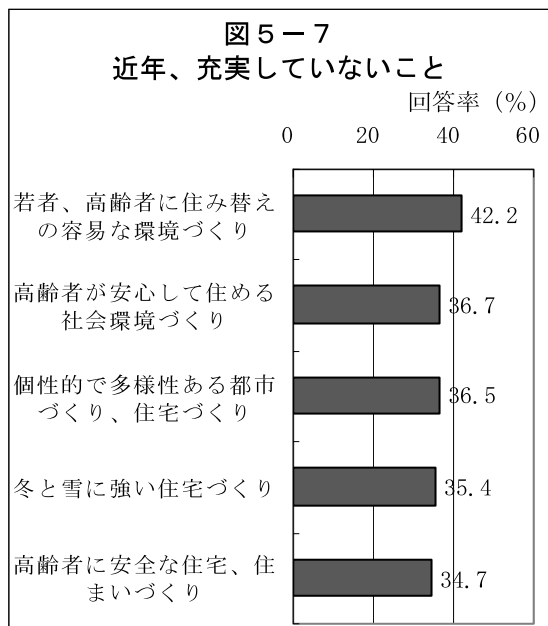
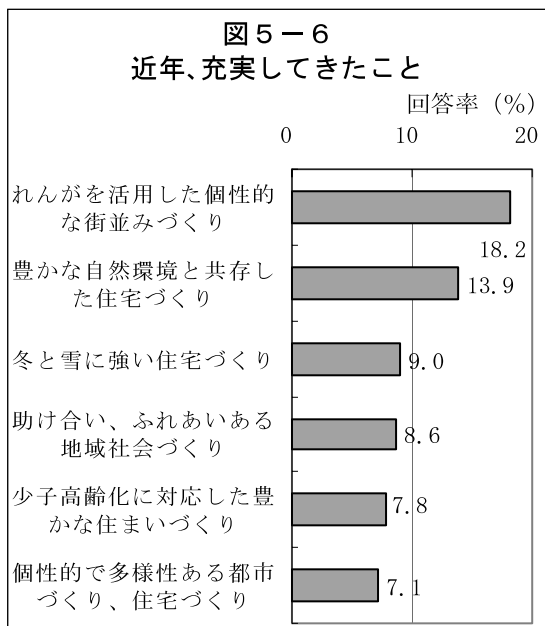
市民の住宅に対する関心や満足は、個々の住戸や住環境では満足が多く、災害、防犯、地域活動を含めた住みやすさ、安心感の面で、不満が多いことがわかります。



3] 住宅施策に対する評価

市民から見て、近年、充実してきた、よくなってきたと評価されたのは、「れんがを活用した個性的な街並みづくり（18.2%）」、次いで「豊かな自然環境と共存した住宅づくり（13.9%）」などです。一方、充実していないと評価されたことは、「若者、高齢者に住み替えの容易な環境づくり（42.2%）」、「高齢者が安心して住める社会環境づくり（36.7%）」、「個性的で多様性のある都市づくり、住宅づくり（36.5%）」、「冬と雪に強い住宅づくり（35.4%）」などです。

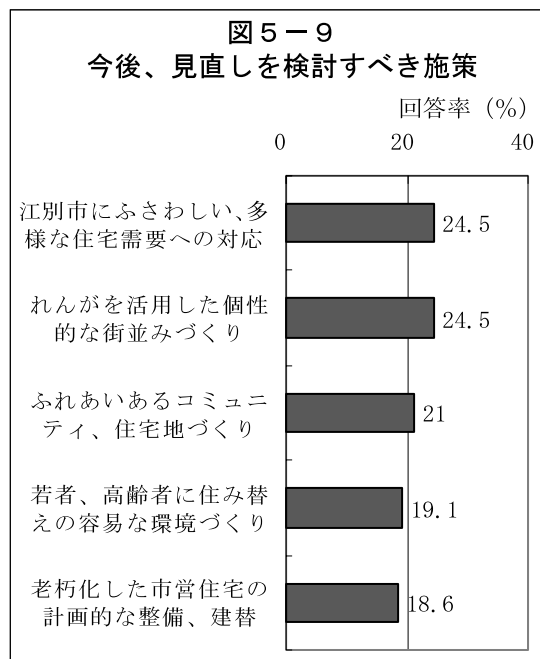
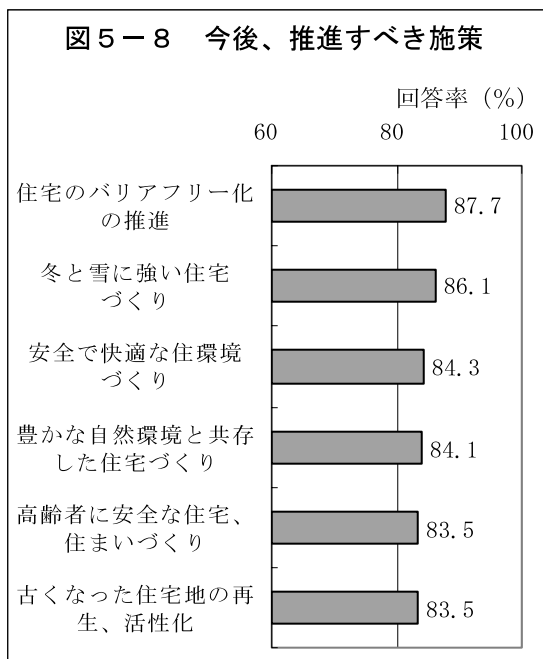
美しい景観やゆとりある自然を生かした施策については評価が高く、高齢化、少子化や今後の人口減少に対応した施策については、評価が低くなっています。



4] 住宅施策に対する要望

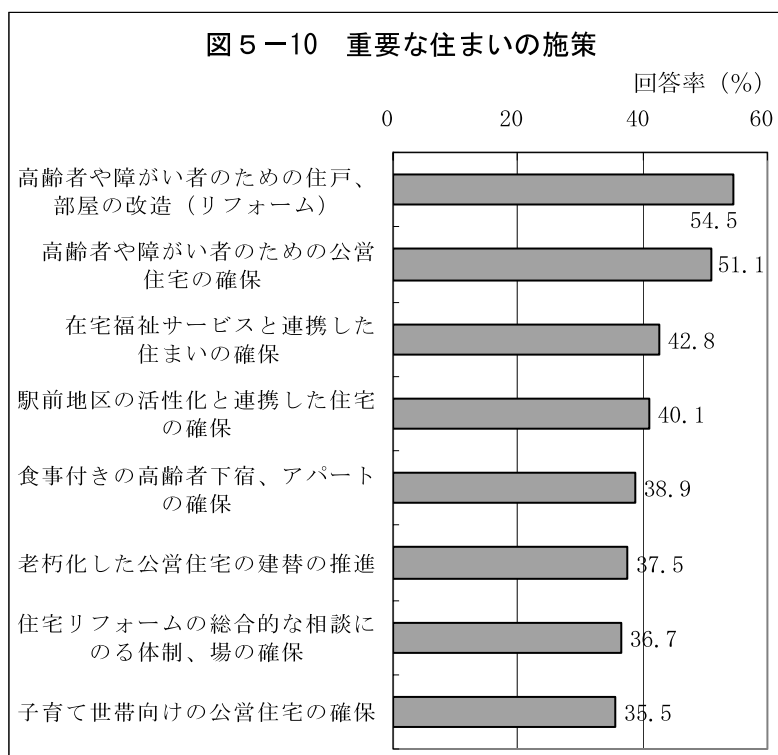
推進すべき（積極的に推進、今までどおり推進の計）と回答された施策は、「住宅のバリアフリー化の推進（87.7%）」、「冬と雪に強い住宅づくり（86.1%）」、「安全で快適な住環境づくり（84.3%）」です。

見直しを検討すべき（手控える、見直す、中止してもよいの計）と回答された施策は、「江別市にふさわしい、多様な住宅需要への対応（24.5%）」と「れんがを活用した個性的な街並みづくり（24.5%）」です。



重要と回答された施策は、「高齢者や障がい者のための住戸、部屋の改造（リフォーム）（54.5%）」、「高齢者や障がい者のための公営住宅の確保（51.1%）」、「在宅福祉サービスと連携した住まいの確保（42.8%）」などです。

高齢化に伴い、身体が不自由となったり所得が不安定となったときに、安心して暮らせる住まいを確保するための施策が望まれています。



(2) 市営住宅入居者

市営住宅入居者の住宅、住環境等に対する意識、要望を把握するため、平成19年6月にアンケート調査を実施しました。

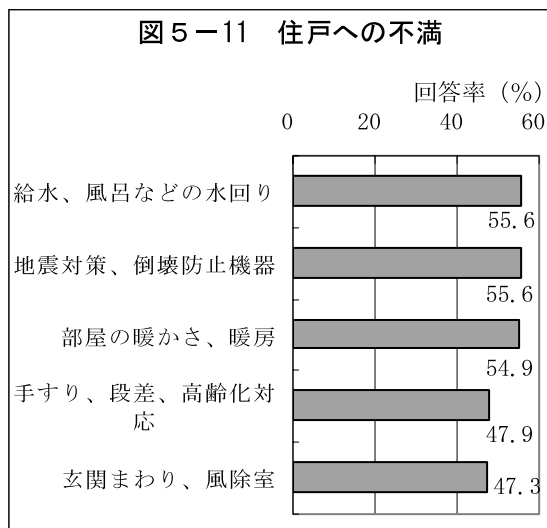
(入居者全戸1,154人に配付、535名が回答。回答率46.4%)

1] 住宅に対する評価

① 住戸への不満

住戸への不満は、「給水、風呂などの水回り（回答率：55.6%）」と「地震対策、倒壊防止機器（55.6%）」です。次いで「部屋の暖かさ、暖房（54.9%）」、「手すり、段差、高齢化対応（47.9%）」などです。

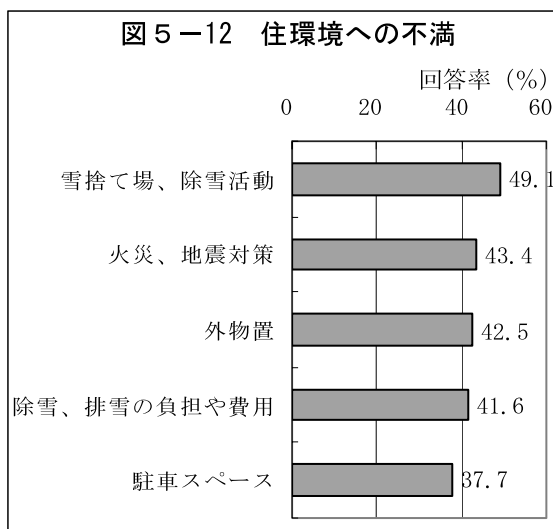
住戸の水回りと暖かさ、高齢化対応、地震対策に不満があることがわかります。



② 住環境への不満

住環境への不満は、「雪捨て場、除雪活動（49.1%）」、「火災、地震対策（43.4%）」、「外物置（42.5%）」、「除雪、排雪の負担や費用（41.6%）」などです。

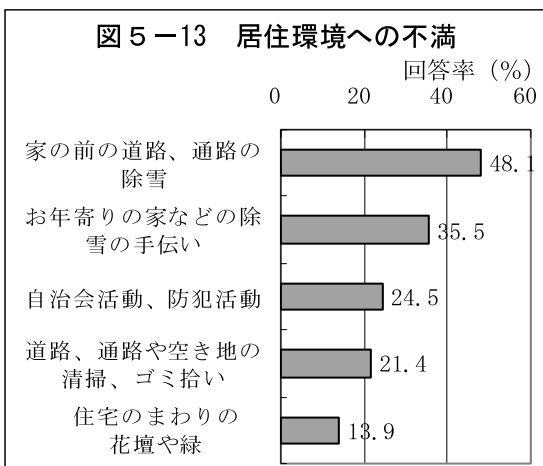
住戸まわりでは、雪問題、災害に対する不満があることがわかります。



③ 居住環境への不満

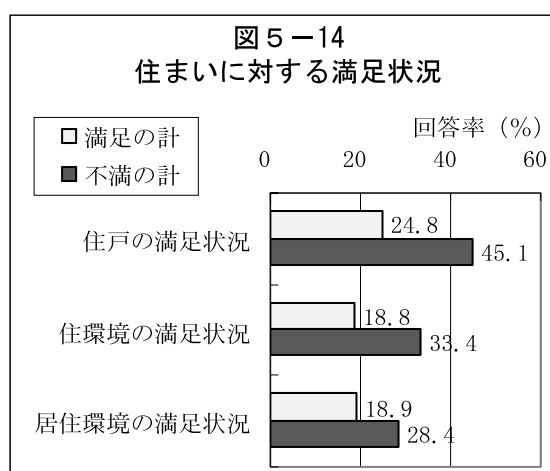
居住環境への不満は、「家の前の道路、通路の除雪（48.1%）」、「お年寄りの家などの除雪の手伝い（35.5%）」などです。

近所と協力し住みやすい地域をつくることについて、不満が多いことがわかります。



2] 住まいに対する評価

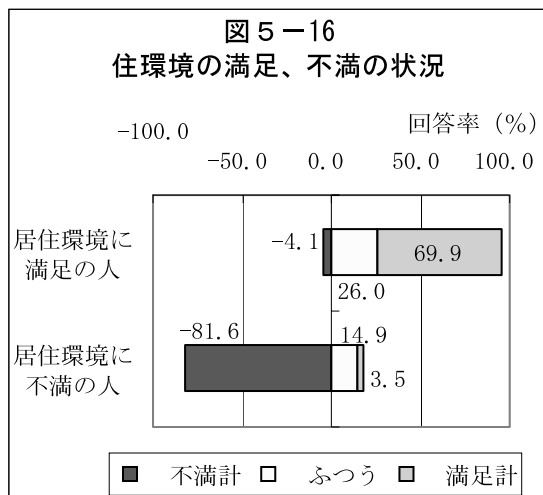
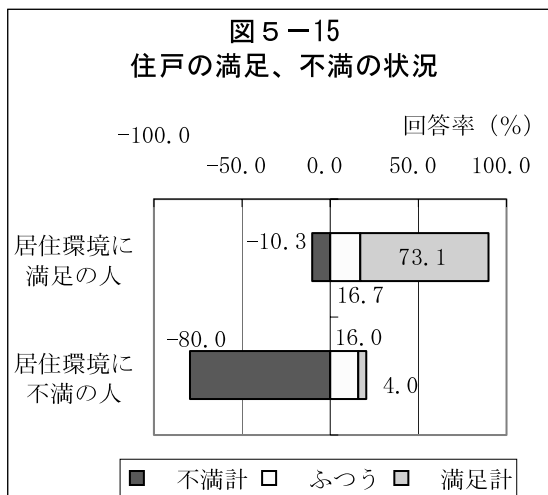
住戸、住環境、居住環境のいずれも、不満が満足を上回っており、とくに住戸では、不満が45.1%となっています。



居住環境に満足している人、不満な人に分け、住戸、住環境の満足状況をみます。

居住環境に満足している人は、住戸、住環境いずれも満足度が高く（89.8～95.9%）、逆に居住環境に不満な人は、住戸、住環境、いずれも不満度が高く（80.0～81.6%）なっています。

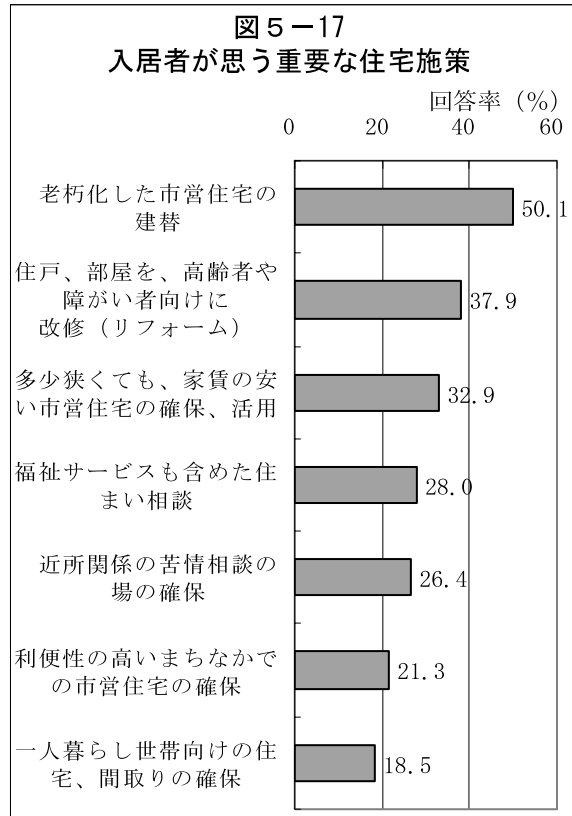
住宅の満足とは、住戸、住環境のみではなく、近隣との人間関係や地域の住みやすさも反映しているものと思われます。



3] 住宅施策に対する意見

入居者が重要と回答した施策は、「老朽化した市営住宅の建替（50.1%）」、「住戸、部屋を、高齢者や障がい者向けに改修（リフォーム）（37.9%）」、「多少狭くても、家賃の安い市営住宅の確保、活用（32.9%）」などです。

安い家賃で安全に安心して暮らせる市営住宅の確保を望んでいることがうかがえます。



4] 市営住宅の改修に対する意向

入居者の意向は、「全市的な建替計画をたて、順次、建て替えるべき（25.8%）」です。

一方、「改修せず、未永く活用してほしい（15.1%）」、「家賃が上がってもいいから、改修してほしい（9.7%）」という回答もあります。

建て替えを希望する人は全体としては多数いますが、改善、修繕を希望する方が21.3%、改修せず活用が15.1%います。よくわからない、どちらともいえない、どちらともいえないとしている方は20.7%となっています。

